

赤目四十八滝 & 長坂山

[実施日--2023年6月27日]



(メンバー) ---計 7名 木村、楠部、岡本、山本、八木、上畑、有本

① (赤目四十八滝のロードマップ)



② (入山口の赤目牛)



④ (千手滝---五瀑の2)



⑥ (百畳岩)



③ (不動滝---五瀑の1)



⑤ (布曳滝---五瀑の3)



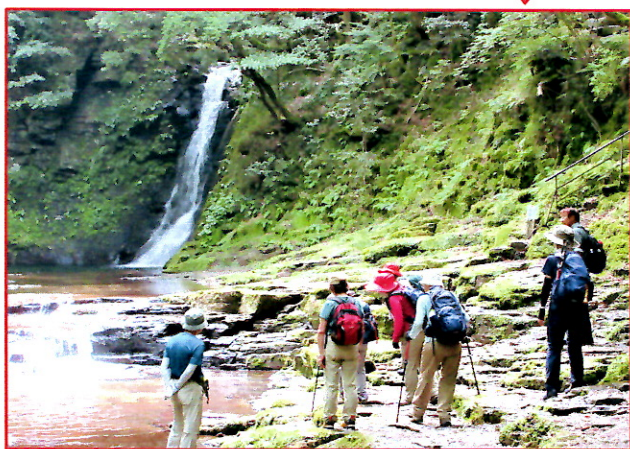
⑦ (荷担滝---五瀑の4)



⑨ (長坂山の登山口)



⑧ (琵琶滝---五瀑の5)



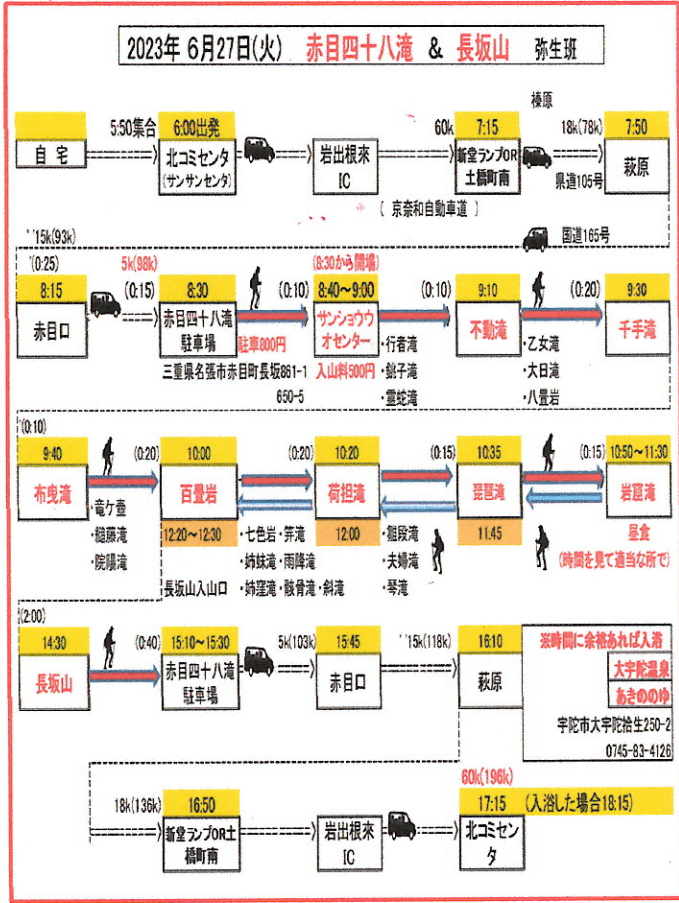
⑩ (長坂山)



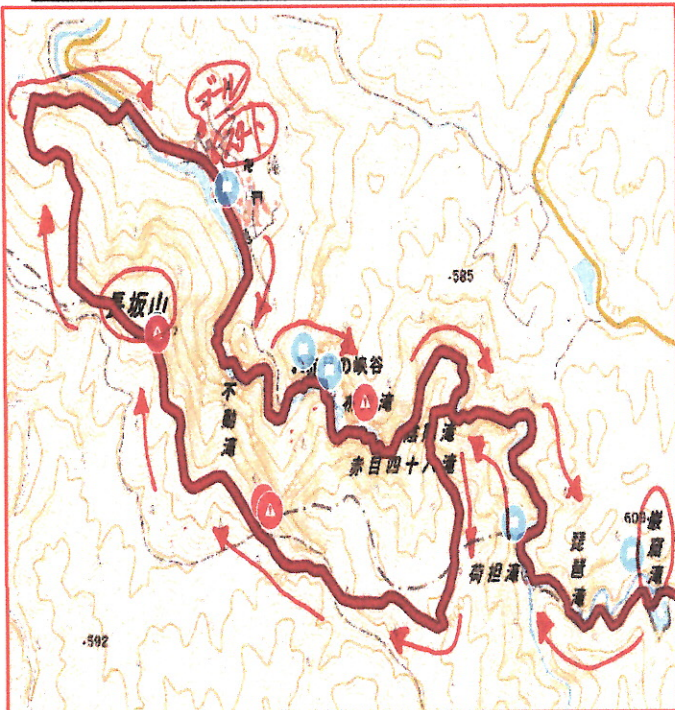
赤目四十八滝 & 長坂山

※(山行日) ---- 2023年6月27日

※(行程) [予定]



(赤目四十八滝&長坂山のロードマップ)



紀峰山の会 (弥生班)

(メンバー) 計7名

木村、楠部、岡本、山本、八木、上畑、有本

※(行程) [結果]

(往路---車移動)

- 北コミセン (出発) 6:00
- 赤目四十八滝駐車場 (到着) 8:45

(山行)

- ① 入山センター ----- 9:00
- ② 百畳岩 ----- 10:30
- ③ 岩窟滝 ----- 11:30
- ④ 百畳岩 ----- 12:30
- ⑤ 長坂山 ----- 14:30
- ⑥ 駐車場 ----- 15:45

(帰路---車移動)

- 駐車場 (出発) 16:00
- 北コミセン (到着) 18:00

※[はじめに]

(赤目四十八滝)

・室生赤目青山国定公園の中心に位置し、滝川の上流に連なる数々の瀑布が美しい大自然のアーチを作り出しています。その長さは約4kmにも及び、神秘的な自然の景観は「平成の名水百選」「日本の滝百選」「森林浴の森百選」そして「遊歩百選」にも選ばれており、渓谷に織り成す樹木・溪流・滝などが奏でる優雅な色彩と音のハーモニーが、自然をより楽しませてくれます。

(赤目五瀑)

- ・赤目四十八滝のうち比較的大きな5つの滝を、赤目五瀑(あかめごばく)と言う。
 - 不動滝(ふどうだき)
 - 千手滝(せんじゅだき)
 - 布曳滝(ぬのびきだき)
 - 荷担滝(にないだき)
 - 琵琶滝(びわだき)

(長坂山トレッキングコース)

- ・渓谷の入山口と渓谷の西にある長坂山(標高584m)を結ぶトレッキングコースで、赤目渓谷中腹の百畳岩付近に設けられた登山口から、長坂山の山頂を経て下山口へと至る約6kmの周回コース。

(写真1) (8:45 赤目駐車場)



- ・駐車場へは1番乗り。売店も閉まっていた。先ずは準備体操と山行の打合せを行う。

(写真2) (赤目四十八滝の入山口)



(写真3) (赤目牛)



- ・入山口の「赤目牛」看板には赤目牛の由来と撫でることによるご利益が書かれている。「ご利益がありますように」と入山する。

(写真4) (不動滝)



- ・最初の滝。「不動滝」(五瀑の1つ)滝参りとはこの滝に参ることを意味し、明治の中ごろまでは、ここから奥へは入れなかったそうです。

(写真5) (千手滝—その1)



(写真6) (千手滝—その2)



- ・高さ15m、滝、岩、樹木、滝壺が調和した美しい滝。千手のように落水するところから名付けられたとか？(五瀑の1つ)

(写真7) (遊歩道と橋)



・歩道はしっかりしており快適に進む。

(写真8) (布曳滝)



・高さ 30m から一条の布をかけたように落ちる滝。

(五瀑の1つ)

(写真9) (百畳岩)



・立っている下が百畳もある巨大な一枚岩

(写真10) (小休止)



・冷たいフルーツデリーを食べて一息。

(写真11) (荷担滝)



・落差 8m の滝。岩を挟んで2つの流れとなって落下する様子が荷を担っているような姿ということでその名がついたとか。溪谷随一の景観ともいわれています。

(五瀑の1つ)

(写真12) (琵琶滝)



・高さ 15m、楽器の琵琶ににていることから名付けられた？

(五瀑の1つ)

(写真13) (岩窟滝)



・ハイキングコースの一番奥にある滝

(写真 14) (ランチタイム)



- ・百畳岩に戻り、ランチタイム。
まずは、乾〜杯！

(写真 15) (長坂山の登山口)



- ・食事後、いよいよ長坂山へ。
最初から急登。

(写真 16) (14:30 長坂山頂上)



- ・道中は急登の上り下りが続き、途中にカメラスポットはあるものの、全体としては、うっそうとした木々で展望が悪い。

(写真 17) (へこきまんじゅう)



- ・15時45分駐車場に到着。
帰りに赤目名物の「へこきまんじゅう」を食べ、土産も買った。
- ・生地自体がさつまいもで作られているため、「さつまいもを食べるとおならが出る」と言われることから、へこきまんじゅうと名付けたとのこと。
- ・食べると大変美味しかった。
後は車の中では我慢.....。

※[最後に]

- 山行中のトラブルはなかったが、集合場所を今回から変更したことにより、情報伝達不足で行き違いがあり、出発が若干遅れた。
- 梅雨時で天気予報でも雨天を覚悟しての出発であったが、結果的に天候に恵まれ楽しく山行できた。
- 赤目四十八滝は水量があり変化に富んだ滝や風景が楽しめ、心地よい環境であったが、長坂山は思った以上の急登で木々がうっそうとして展望が悪く、大量の汗をかきながらの山行であった。
- 総合的には、今回も植物や滝の風情、山行中の会話を楽しみ、安全な山行となりました。